

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2026-05-01

No. 185



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation  
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

## コスモス ニュースレター EMC &安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-6-3:2026 他の発行関連情報 .....	3
IEC: 新規格リスト .....	5
ISO: 新規格リスト .....	8
国際テーマ: 自動運転車の実用化に向けた動き .....	10
国際テーマ: AI を組み込んだ製品の安全確保 .....	11
国際テーマ: ベトナムにおける ITC 製品の新規制 .....	12
国際テーマ: レバノンにおける通信機器の型式承認に関する主な変更点.....	13
国際テーマ: UNECE: 疲労に関連する自動車事項を防止するための新しい UN 規則 .....	14
USA: FCC: 電子機器の試験における完全性と安全性の確保に向けた FCC の取り組み.....	15
USA: FCC: KDB: RF 機器の試験を行う認定試験所の受入れに関するガイダンス .....	16
USA: FCC: KDB: FCC 関連の試験所を評価する認定機関向けガイダンス .....	17
USA: CPSC: CPSC、オス-オス延長コードの使用を中止するよう消費者に警告 .....	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	19
USA: IEEE: 新規格リスト .....	20
カナダ: ISED: 比吸収率の適合のためのカメラ突出部の測定に関する要件 .....	21
EU: 欧州委員会、サイバーレジリエンス法の適用に関するドラフトガイダンスを公表 .....	23
UK: ファストトラック UKCA: UKCA と CE 制度に関するガイダンス .....	24
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	27
EU: ETSI: 新規格リスト .....	28
ニュージーランド: WorkSafe: 電気配線に関する助言に関する専門家レビューの結果 .....	29
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト .....	30
中国: CNCA: ヒューズ等 11 品目の強制製品認証実施規則の公布に関する CNCA 公告 .....	31
中国: CQC: スマートベッドの健康・ウェルネス製品の認証事業開始に関する通知 .....	31
中国: 新規格リスト .....	32
台湾: BSMI: 「工場検査実施要領」の第三点の規定が改正、即日施行 .....	35
台湾: 新規格リスト .....	36
韓国: RRA: 端末装置適合性評価試験方法 (KS X 3078) 一部改正施行通知 .....	37
韓国: KATS: 電気用品及び生活用品の安全管理運用要領改正告示 .....	38
韓国: KATS: 電動ボードの安全基準改正 (案) に関する行政予告 .....	39
韓国: KS 新規格リスト .....	39
総務省: 6GHz 帯無線 LAN の周波数拡張に係る技術的条件等の検討 .....	40
経済産業省: 届出書を受領したことを証する書類のサービス終了のお知らせ .....	42
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	14
コスモス・コーポレーションからのご案内: 塩水噴霧試験のご案内 .....	22
コスモス・コーポレーションからのご案内 ~ iNARTE PS (製品安全) 試験について .....	36
(株)コスモス・コーポレーション セミナー (zoom) のご案内 .....	30
ちょっといっぷく~小クイズコーナー 欧州 RED のセキュリティ関連要件の廃止日 .....	23
社長の独り言 .....	43



### [IEC: 規格解説: IEC 61000-6-3:2026 他の発行関連情報](#)

今号の IEC 新規格リストに掲載の規格から、IEC 61000-6-3:2026（住宅環境における機器のエミッション規格）、IEC 60335-2-2:2026 PRV（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性—第 2-2 部 真空掃除機及び給水式掃除機の個別要求事項）の概要を紹介。

### [USA: FCC: 電子機器試験における完全性と安全性の確保に向けた FCC の取り組み](#)

FCC は、電子機器試験の完全性と安全性の確保を目的として、新たな規則案の採決を予定している。本規則案は、相互主義に基づく協定のない国に所在する試験所及び証明機関の認定を禁止するもので、従来の「不適格試験所」対策を踏まえた措置である。併せて、米国または相互主義が確保された国の試験所で試験された機器に対する簡素化された承認手続の導入も検討されている。FCC はこれまで、相互承認協定（MRA）に基づく試験を原則としてきたが、2015 年以降は運用が緩和されていた。今回の提案は、こうした状況を見直し、機器認可制度の信頼性確保と国家安全保障の強化を図るものである。さらに、非該当国の試験所は 2 年で段階的に排除され、信頼できる試験所に対する迅速審査や監視・執行の強化も実施される予定である。

### [UK: ファストトラック UKCA: UKCA と CE 制度に関するガイダンス](#)

英国ビジネス・通商省から「ファストトラック UKCA」に関して説明するガイダンスが発行された。グレートブリテン市場における UKCA マーキングの適用方法を示している。本制度は、製造業者が製品に適用される規則ごとに、英国または英国が認めた EU の必須要件及び適合性評価手続を選択できる代替的な枠組みを提供するものである。対象となる EU 要件が英国国内法で認められている場合、自己適合宣言または第三者認証により UKCA マーキングの適用が可能となる。複数規則が適用される製品では、英国と EU の要件を組み合わせた適合も認められるほか、すべて EU 要件に基づく対応も可能である。また、EU 要件のみで適合した場合には CE マーキングによる上市も可能となる。本制度は、複雑化・高コスト化する適合性評価への対応として柔軟性を高めることを目的としている。さらに例示として、単一規則・複数規則それぞれの適用パターンや、UKCA と CE の選択可能性が示されている。

### [総務省: 6GHz 帯無線 LAN の周波数拡張に係る技術的条件等の検討](#)

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会 5.2GHz 帯及び 6GHz 帯無線 LAN 作業班（第 17 回）が下記のとおり開催され、6GHz 帯無線 LAN の周波数拡張等に係る技術的条件ならびに 5GHz 帯無線 LAN の DFS 高度化に係る技術的条件が検討された。

# USA: FCC: 電子機器の試験における完全性と安全性の確保に向けた FCC の取り組み



## Summary

FCC は、電子機器試験の完全性と安全性の確保を目的として、新たな規則案の採決を予定している。本規則案は、相互主義に基づく協定のない国に所在する試験所及び証明機関の認定を禁止するもので、従来の「不適格試験所」対策を踏まえた措置である。併せて、米国または相互主義が確保された国の試験所で試験された機器に対する簡素化された承認手続の導入も検討されている。FCC はこれまで、相互承認協定 (MRA) に基づく試験を原則としてきたが、2015 年以降は運用が緩和されていた。今回の提案は、こうした状況を見直し、機器認可制度の信頼性確保と国家安全保障の強化を図るものである。さらに、非該当国の試験所は 2 年で段階的に排除され、信頼できる試験所に対する迅速審査や監視・執行の強化も実施される予定である。

公開日:2026 年 4 月 8 日

## 相互主義に基づく協定のない国の試験所の利用禁止規則を提案

FCC のブレンダン・カー委員長は、電子機器の試験における完全性、安全性及び相互主義を確保するための新たな規則について、FCC が採決を行う予定であると発表した。提案された規則は、次回の月例会合で採決される予定であり、FCC がこれまで実施してきた「不適格試験所 (Bad Labs)」への対応措置を踏まえたものである。この規則案は、米国の試験所及び証明機関を受け入れる協定を締結していない外国に所在する試験所及び証明機関の受入れを禁止するものである。さらに、これらの規則が最終化される前に、FCC は、米国内の試験所または相互主義が確保された国の試験所で試験された機器に対する、簡素化された承認手続を採用するかどうかについても採決を行う予定である。

---

昨年、FCC は全会一致で、外国の敵対勢力が所有または支配する試験所及び証明機関の受入れを禁止する規則を採択した。これらの規則の採択以降、FCC は米国の国家安全保障を脅かす 23 の「不適格試験所」について、認定の取消または認定拒否の措置を講じてきた。今月の命令及び規則制定案告示 (NPRM) は、重要な次の一歩となるものである。

数十年にわたり、FCC は、米国内、または米国との間で相互承認協定 (MRA) を締結し相互的取扱いを保証している外国においてのみ、機器の試験及び証明を認めてきた。しかし、オバマ政権は 2015 年にこの相互主義の方針を放棄し、当該国の相互主義へのコミットメントの有無にかかわらず、世界中のどこでも試験及び証明が実施できるようにした。このような外国試験所での試験は、FCC の監督及び執行を弱体化させ、国家安全保障にとって極めて重要である機器認可プロセスの信頼性及び完全性を損なう可能性があるため、FCC は指摘している。

今月採決される NPRM では、米国との MRA または同等の相互的な貿易協定を有しない国に所在するすべての試験所及び証明機関の認定を禁止することが提案されている。これらの試験所は 2 年間をかけて段階的に排除される予定である。一方で、同月に採決予定の命令では、信頼できる試験所—すなわち米国内または相互主義が確保された国際的拠点に所在する試験所—で試験された機器に対して、優先的な迅速審査 (ファストトラック) プロセスを導入することが盛り込まれている。また、この命令では、機器認可制度の完全性を強化するための各種措置も採用される予定であり、具体的には、FCC が認定した試験に従事する人員の所在地及び人数の開示義務の導入、市販後監視手続の改善、執行メカニズムの強化、ならびに違反や国家安全保障上の脅威に関する懸念を業界関係者が通報できる機密性の高い報告チャネルの整備などが含まれる。

なお、4 月 30 日の公開会合で採決予定の報告書及び命令案並びに NPRM の公開草案は、その翌日に [ウェブサイト](#) で公開される予定である。

<https://www.fcc.gov/document/fcc-ensure-integrity-and-security-electronic-device-testing>

Source: FCC



# 試験設備のご案内(塩水噴霧試験)

## ◎ 複合環境塩水噴霧試験機

材料の耐腐食性を確認・検証される際は、是非ご連絡ください。

### <試験装置>



専用の設置台により大型の重量物にも対応可能です。

## 仕様

温度設定範囲	塩水噴霧試験: 35°C~50°C 乾燥試験: (室温+10°C)~70°C 湿潤試験: 40°C~60°C(湿度: 50~95%)
試験溶液	中性塩水(pH6.5~7.2)
対応可能規格	ISO9227, JIS Z 2371, IEC60068-2-52 等
テストエリア寸法	W1080mm × H360mm × D650mm (試験可能サイズに関しては、お問い合わせください。)

弊社では他にも、国内外の安全規格 などの粉塵試験、水の浸入に対する保護の試験 等様々な試験を行っています。

安全試験・環境試験・信頼性試験をご検討の際は、是非下記の弊社窓口へご相談ください。

松阪事業所：〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町718-1  
 URL： [www.safetyweb.co.jp](http://www.safetyweb.co.jp) E-mail： [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)  
 【お問い合わせはCS部まで -- TEL: 0598-30-5225(直通), FAX: 0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレイション

## 社長の独り言

2026年4月23日

濱口 慶一

風にそよぐ若葉がまぶしく、初夏の訪れを肌を感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今月は「技術者倫理」について、改めて考えていることをお伝えしたいと思います。先日、関係機関の方々と意見交換を行う機会があり、その中で私は製品安全認証に関する環境が大きく変化している今だからこそ、「技術者倫理」という基本に立ち返ることが一層重要になるという認識を改めて持ちました。とりわけ、判断のスピードがこれまで以上に求められる一方で、その妥当性をどのように担保するかが問われる場面が増えていると感じています。技術がいかに進化し、社会構造が変わろうとも、製品の安全と信頼を担保するのは、最後は技術者一人ひとりの誠実な判断に他なりません。倫理観を土台に据えた確かな技術力こそが、これからの時代、お客様に提供できる最大の価値であると確信しております。

AIの進化により、私たちの業務の進め方は大きく変わりつつあります。ChatGPTやGeminiといった生成AIの台頭は、もはや一過性のブームではなく、実務における強力なパートナーとなりました。当社においても、これらAIツールを積極的に併用し、業務の大幅な効率化を目指しています。情報の整理やドラフト作成、多角的な視点の検証にAIを組み込むことで、私たちはより本質的、かつ創造的な「思考」に時間を割くことが可能になります。私自身、最新のMacを導入し、ローカル環境での「パーソナルLLM」構築の実験を行いました。その結果は極めて良好で、セキュアな環境下で高度な専門知を瞬時に引き出す手応えを感じております。この革新的な利便性と効率性を全社で共有すべく、まずは幹部層から積極的にこれらのデバイスとAI環境を活用し、組織全体のDXを牽引していくよう促しているところです。

読者の皆様におかれましても、日々の業務の中で判断に迷う案件がございましたら、まずはAIツールを使って、論点を整理されることをお勧めいたします。ただし、その結果をどのように判断するかは、最終的には人に委ねられています。AIの回答には限界があり、特に複雑な法解釈や安全基準の判断にはプロの知見が不可欠です。AIとの対話で少しでも「疑念」や「不確かさ」が残る案件がございましたら、ぜひお気軽にコスモスへお問い合わせください。AIのスピード感と、当社の確かな専門知を融合させ、最適な解決策をご提示します。

最後に、私のもう一つのライフワークである日本ミツバチの養蜂についてご報告します。近隣にメガソーラー施設が完成した影響か、自然界の営みに変化が見られます。残念ながら、現時点では分蜂群（ぶんぼうぐん）の捕獲には至っておりません。自然相手の試みは、最新技術のように思い通りにはいかないものですが、その「待つ時間」もまた、生命の神秘に触れる貴重なひとときです。自然への畏敬の念を忘れず、心豊かな5月を過ごしてまいりましょう。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ(EMC, Safety and Energy Conservation)**分野に係わる、世界の主要機関・地域において実施され、かつ電気電子製品に適合が求められている規格/法規制に関連する情報をお届けします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えていただけることが本誌の目標です。情報源を明示しますので、読者の皆様の関心の大きさに応じてさらに深掘りしていただくことができます。

本誌の内容は、各国の規制・規格の対象製品の試験、認証、開発、管理に携わる方々にとり必読です。

- 対象機関・地域: IEC 等国際機関、ならびに、FCC、UL を含む米国、EU、CENELEC、CEN を含む欧州、その他オセアニア及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: 上記の対象機関・地域のウェブサイトもしくは情報サービス。また、ご協力の同意をいただいた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの、当該分野の識者の方から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [ishii-keisuke@cosmos-corp.com](mailto:ishii-keisuke@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、46 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記ウェブサイトの運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可をいただいております。翻訳転載された記事の著作権は原著者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the website information from the above listed organizations with each organization's conditions. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

**コスモス ニュースレター EMC &安全(Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2026-05-01(No. 185)**

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一 編集担当: 山中慎一

© 2025 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。